

第 46 回（平成 30 年度第 3 回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 平成 31 年 3 月 14 日（木）10 時～11 時 40 分

場所 浜田市役所（5 階）議会全員協議会室

[進行／行財政改革推進課長、会長]

| | |
|-------------------|--|
| ◆ 開会（10 時） | |
| 行財政改革推進課長 | <p>只今から平成 30 年度第 3 回 浜田市行財政改革推進委員会を開会します。委員の皆様には、本日は、お忙しい中をご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は事務局を担当しています、行財政改革推進課長の西谷と申します。本日の会長が決まりますまで司会進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。また、この会議は、公開で行います。傍聴の方が出席できることにつきましてご承知おき願います。</p> <p>それでは、開会に当たり、久保田市長からご挨拶を申し上げます。</p> |
| 1 市長あいさつ | |
| 市長 | <p>浜田市行財政改革推進委員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>この度、皆さまには、お忙しい中、浜田市行財政改革推進委員会委員にご就任いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本市では、平成 17 年 10 月 1 日の市町村合併以降、独自の自治区制度のもと、地域の個性を活かし、子や孫の世代までも安心して暮らせる元気なまちづくりを目指し、日々取り組んでおります。</p> <p>しかしながら、我々をとりまく社会情勢は、急激な人口減少や少子高齢化、過疎化の進展など、依然として厳しい状況が続いており、更には市町村合併による、国の財政支援措置が皆減する平成 33 年度も目前に迫っている状況にあります。</p> <p>このような情勢の中、多様化する住民ニーズに応え、安定的な行政サービスを提供していくためには、身の丈に合った行政運営を構築し、持続可能な財政体質への転換を図らなければならないと考えております。</p> <p>この推進委員会では、主に、行財政改革実施計画や公共施設再配置実施計画の進捗管理を行っていただいております。また、本市の事務事業を削減することを目的として昨年実施した事務事業評価では、専門部会において、元気な浜田事業を始めとする各種事業の評価をしていただきました。さらに、推進委員会での意見交換会を踏まえ、今後の行財政改革の取組に関する意見書もご提出いただきました。推進委員会からいただいたご意見やご提案を踏まえ、市民の皆さんと一体となって行財政改革に取り組んで参ります。</p> <p>最後になりましたが、委員の皆さまにおかれましては、市民の代表として、行財政改革の着実な推進に向けた忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げます。</p> <p>どうぞよろしくお願い致します。</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| <p>行財政改革推進課長</p> | <p>続きまして、本日の資料をご確認願います。</p> <p>本日、レジュメと出席者名簿をお配りしています。また、レジュメの下に配付資料を示しています。全て事前送付しましたが、資料 1-1 から資料 3-3 まで持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。</p> <p>なお、資料 3-3 につきまして、一部修正がありましたので、本日差し替えを配付しております。お手数をおかけしますが、差し替えをお願いします。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>レジュメをめくっていただき、1 ページの「浜田市行財政改革推進委員会 委員名簿」がございます。堂端委員、新田委員が所用のため欠席されています。</p> <p>次に、市職員につきましては、2 ページに「浜田市行財政改革推進本部名簿」を掲載しています。本日は、各自治区長、教育長、浜田地区広域行政組合事務局長、市民生活部長、産業経済部参事が欠席です。また、地域政策部長の代理でまちづくり推進課長が出席しています。</p> <p>本日の会議の終了は、11 時 30 分を予定しておりますので、よろしく願います。</p> |
| <p>2 委員会概要説明及び委嘱状交付</p> | |
| <p>行財政改革推進課長</p> | <p>続きまして、「2 委員会概要説明及び委嘱状交付」に移ります。</p> <p>まず、行財政改革推進委員会の概要につきまして、説明させていただきます。</p> |
| <p>行革推進係長</p> | <p>行革推進係長の浅田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>行財政改革推進委員会について簡単に概要を説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料 1-1 をご覧ください。附属機関設置条例の抜粋で、表に「浜田市行財政改革推進委員会」について定めがございます。役割としましては、「担任事項」にあります「浜田市行財政改革大綱及びその実施計画に関する重要な事項について審議し、市長に意見を述べること。」また、「浜田市が行う行財政改革の推進状況について審議し、市長に助言をすること。」でございます。</p> <p>委員構成につきましては、「委員等の定数」をご覧ください。この中で市長が特に必要と認める方につきましては、各自治区地域協議会から 1 人ずつと、公募委員を 3 人としております。委員全体では 18 人でございます。</p> <p>任期、定足数、表決の方法はご覧のとおりでございます。</p> <p>続きまして、資料 1-2 をご覧ください。委員会の組織、運営等を定めた規則です。第 3 条にありますとおり、会長及び副会長につきましては後ほど、委員の皆様の互選により決定させていただきます。</p> <p>資料 1-3 は、報酬及び費用弁償に関する条例の抜粋です。裏面にありますとおり、会議に出席された場合に日額報酬 6,000 円と規定の費用弁償を後日振込させていただきます。</p> <p>最後に、口頭でお知らせですが、会議は原則として「公開」で開催します。傍聴も可能で、審議内容やその会議の要旨は、市のホームページにも掲載する予定です。また、会議の様子はマスコミが報道される場合もございますので、ご承知おきください。委員会の概要については以上です。</p> |

| | |
|---------------------------|--|
| 行財政改革推進課長 | <p>ここまでのところでご質問はありますでしょうか。</p> <p>次に、委員の皆さんへの「委嘱状交付」ですが、皆様のお手元に「委嘱状」をお配りさせていただいております。本来ですと、市長から直接交付すべきではございますが、時間の都合により、配付を持って代えさせていただきます。</p> <p>委員の任期は、本日から2年間となりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> |
| 3 委員紹介 | |
| 行財政改革推進課長 | <p>続きまして、「3 委員紹介」に移ります。</p> <p>時間の都合上、私からお手元の名簿の順にご紹介させていただきます。</p> <p>(委員を名簿順に読み上げて紹介)</p> <p>以上、18人で、そのうち新任の委員は5人となっています。本日は16人出席です。この2年間、よろしく願いしたいと思います。</p> |
| 4 議題 | |
| (1) 会長及び副会長の決定について | |
| 行財政改革推進課長 | <p>次に、「4 議題」に移ります。</p> <p>本日は、協議事項が2点と報告事項が1点ございます。まずは、議題「(1) 会長及び副会長の決定について」です。</p> <p>決定にあたりましては、資料 1-2 浜田市行財政改革推進委員会規則第3条の規定に基づき、委員の互選で会長1人、副会長1人を決定いただきたいと思います。どなたか、ご意見、ご提案はございませんか。</p> |
| 馬場真二委員 | <p>提案ですけれども、まず、会長には、委員歴が長くまとめ役としても適しておられることから、光延委員が適任と考え、推薦します。</p> <p>副会長には、同じ島根県立大学で、また市の附属機関の会長・副会長を歴任されている豊田委員が適任と考え、推薦します。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> |
| 行財政改革推進課長 | <p>ただ今、ご提案いただきました。</p> <p>会長には光延忠彦委員、副会長に豊田知世委員という提案がございましたが、委員の皆さんに確認させていただきます。</p> <p>会長には光延委員、副会長には豊田委員と決定することに賛成される委員の拍手をお願いします。(拍手多数)</p> <p>それでは、そのように決定しました。</p> <p>光延会長と豊田副会長は席の移動をお願いします。</p> <p>会長、副会長から、一言ずつごあいさつをお願いします。</p> |
| 光延会長 | <p>ご指名いただきましたので、この任期の期間、誠心誠意努めたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p> |
| 豊田副会長 | <p>島根県立大学の豊田です。前回に引き続き副会長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>行財政改革の推進や公共施設再配置の進捗具合を管理するということが、よりスムーズに行財政改革を進めたり、公共施設の利用率を上げたりする</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>ことは、実際に利用されている皆様からの積極的な意見が重要かと思っております。昨年度はワークショップのようなことも開催しましたが、皆様が意見を出しやすい方法をこれからも考えていきたいと思っておりますので、そういった方法などについても積極的にご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>今回は、大学生も公募委員として参加しているということですが、若い世代の積極的な意見も期待されていると思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 行財政改革推進課長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>なお、久保田市長は他の公務がありますので、ここで退席させていただきます。（市長退席）</p> <p>それでは、以降の議事進行は、光延会長にお願いいたします。</p> |
| <p>4 議題</p> <p>(2) 平成 30 年度中期財政計画及び見通しについて（報告）</p> | |
| 光延会長 | <p>新しい委員もおられるということで、忌憚のないご意見を多数いただき、この会がより活性化できるように、皆様のご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、議題(2)に移ります。</p> <p>「平成 30 年度中期財政計画及び見通し」について、説明をお願いします。</p> |
| 財務部長 | <p>(資料 2-1)について説明)</p> |
| 光延会長 | <p>ただ今、説明がありました。</p> <p>それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問をいただきたいと思っておりますので発言される方は挙手をお願いします。</p> |
| 坂東委員 | <p>P18 に記載のある（仮称）浜田歴史資料館整備事業は、開府 400 年はあきらめて、平成 34 年度から始まるということですか。</p> |
| 財務部長 | <p>計画上はそういうことです。</p> |
| 坂東委員 | <p>この話は生きているということですか。</p> |
| 教育部長 | <p>計画そのものがまだ確定したものではなく、過去に計画したものをそのまま上げています。将来的にいつになるかについては確実ではありません。今の段階では、この計画であるということです。</p> |
| 坂東委員 | <p>しまねお魚センターという名称には、建設時に県の指示で「しまね」という言葉を入れた経緯があると思っております。この度「しまね」は無くなるのでしょうか。</p> |
| 産業経済部長 | <p>現在、（仮称）ではありますが、山陰浜田港公設市場という名称を考えております。新たな事業を立ち上げますので、名称も一新することとしております。</p> |
| 坂東委員 | <p>県は了承しているのですか。</p> |
| 産業経済部長 | <p>了承してもらっています。</p> |
| 山田委員 | <p>P11 (6) 公債費の繰上償還についてお考えを伺いたいののですが、交付税措置等の財政バランスを考えて実施されていると思うのですが、これ以上やってもメリットがないという判断なのではないでしょうか。平成 31 年度で一応終了となっている</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>るのはなぜですか。</p> |
| 財務部長 | <p>まず、国の地方債の考え方があります。なぜ地方債（借金）ができるかということですが、通常、建物や道路等の建設のための借金であり、それは現役世代だけではなく、後の世代にも受益があるという観点があります。</p> <p>しかし、借金ですので多すぎると後の世代が大変ですから、将来の負担を減らそうとして繰上償還を行うのですが、極端に減らすと現役世代だけがその負担を多く担うことになります。現役世代のサービスを圧迫することになるので、これ以上は必要ないだろうと考えております。実質的に借金の比率も県下でもかなり良くなっていますので、そろそろ繰上償還をやめても良いだろうということですが。</p> <p>仮に、繰上償還をしないと貯金として残るということになります。その貯金を利用して何かサービスを検討する方が良いという考え方です。</p> <p>ただし、将来的には収支が厳しいということもありますので、新たな繰上償還の検討が必要になってくると思います。</p> |
| 矢野委員 | <p>P10（5）投資的経費について質問をさせていただきます。</p> <p>平成30年度は104億円となっており、平成39年度見込みでは30億円に下がるということで、数値だけ見ると普通建設事業費だけ見ても、平成30年度に比べて半分以下に下がるとなっていますが、今までどおり公共施設等が維持できるか不安に思います。その点をご説明願います。</p> |
| 財務部長 | <p>まず申し上げなくてはいけないのが、平成30年度の金額がかなり大きいということです。また、事業費が大きくても、その全額を国からもらえる事業もあります。何かと言いますと、一番大きいのが益田市に建設される牧場の関係で14億円あります。それらを差し引くと実質的な投資規模は下がります。</p> <p>ご指摘のとおり、普通建設事業費も浜田市の予算規模は県下でも一番大きく、全国的な類似団体と比較しても、浜田市は投資規模が大きいとは言えます。よって、ある程度予算的に抑え込みをしなければいけないと思っています。浜田市の財政体力にあった投資額は、大体30億円くらいです。ただし、将来的には、今作った計画よりも増える傾向がありますので、最低限でこの計画ということです。</p> |
| 豊田副会長 | <p>P13の表2では、浜田市の貯金が多いという話で、そこから崩していくということでしたが、平成30年度の基金年度末現在高が149億円で、平成39年度には111億円になるということでした。10年間で約40億円近くが減額となりますが、このスピードが適切なのか教えてください。</p> |
| 財務部長 | <p>毎年、中期財政計画を作成していますが、この減額率は最も少ない方ですから決して悪くないと思っています。他の団体等では5年で枯渇するというような計画もありますので、比較すれば悪くないということです。</p> <p>将来的に減額になるというような警鐘を鳴らしておかないと、行財政改革が進みません。しかし、10年間で40億円ならば、決して減っているとは思っておりません。111億円あれば問題ないということです。</p> |

| | |
|---------------------------------------|--|
| 豊田副会長 | 余裕を持った推計ということでしょうか。 |
| 財務部長 | 予定どおり行財政改革を進めたらこうなるという計画ですので、これを減らすまいと思えば、更なる行財政改革が必要ということです。 |
| 小倉委員 | 私もそこが気になります。貯金の減少について他の行政団体と比較されていましたが、普通は、単年度で収支プラスマイナスゼロというのが当たり前だと思います。そこに向けて行財政改悪が進むのが筋なのではないかと思います。目標は、あくまでも単年度収支プラスマイナスゼロというところであって、貯金の取り崩しありきが本来の姿なのかと言うと、私は違うのではないかと思います。 先ほど他の委員さんが言われたように、繰上償還等の姿勢も必要になってくると思いますし、金利も1.10%で計算されているようですが、現在の状況では決して安いと言えないと思います。 |
| 財務部長 | 収支がプラスマイナスゼロと言いながら、決算をすると毎年黒字となっておりますし、そういった姿を目指しています。 金利については、実際には1%未満の非常に安い金利で借入しています。財政計画については全て堅めに見て備えています。 |
| 光延会長 | 面白い議論が出ていますが、時間の都合もありますので、その他質疑がある方がおられましたら、どうぞ。 なければ次に移りたいと思います。 |
| 4 議題 | |
| (3) スポーツ施設再配置・整備計画（案）の検討経過について | |
| 光延会長 | それでは、議題(3)に移ります。 「スポーツ施設再配置・整備計画（案）の検討経過」について、説明をお願いします。 |
| 生涯学習課長 | (資料3-1、3-2)について説明) |
| 教育施設再編推進係長 | (資料3-3)について説明) |
| 光延会長 | ただ今、説明がありました。 それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問をいただきたいと思いますので発言される方は挙手をお願いします。 |
| 坂東委員 | 今回は質問ではなく意見になりますが、この答申を行った浜田市スポーツ推進審議会のメンバーには、スケート関係者が1人も含まれていなかったため、スケート場はいらぬといったような回答をされていると思います。 私自身もサン・ビレッジにおいて、10年程ボランティアで学校の生徒などにスケートの指導などを行っていますが、利用者には、女性や若い方、子供が多く、その方々の施設をなくして良いのかという気持ちがあります。 住民サービスという点もあるとは思いますが、例えば一昨年、浜田高校の女子生徒で高校総体のスケートの大会に出た子がいます。東部の子（湖遊館で練 |

| | |
|--------|--|
| | <p>習)ではなくて、サン・ビレッジ浜田で練習をしていた子です。また、何人か日本の大会に参加している方も輩出している施設だと思います。そういった施設をなくして良いのかということと、また、現在は浜田市の利用者よりも、山口県から公民館活動や塾の生徒等が複数で浜田に来て、スケートをしてからアクアスに行くという観光のルートとしての利用も多いと聞いています。観光の視野も必要ではないかと思います。</p> |
| 生涯学習課長 | <p>意見として承りたいと思います。計画案では、観光、交流人口のことについての視点も持って検討しています。</p> |
| 坂東委員 | <p>先ほどの説明で、ふるさと寄附が余って貯めていくという話がありましたが、サン・ビレッジ浜田の冷媒設備は1億円あれば新しくできるので、そういったものを利用するということは考えていないのでしょうか。</p> |
| 財務部長 | <p>その件につきましても、意見として承りたいとさせていただきます。ふるさと寄附の用途については、議会でもいろいろ意見もありますし、今後の課題とさせていただきます。</p> |
| 田中委員 | <p>平成17年の合併後、各地域に、野球、サッカー、水泳等の各スポーツの施設がある状態だと思います。いろいろあって自治区制度となった経緯があると思いますが、メインとサブ等を考えないといけないと思います。</p> <p>交流人口の増加については、子供のスポーツ観戦や大会への参加に付き添って一緒に来浜され、宿泊される親御さん方も多くあると思います。この度、ホテル等が新しく建設され、美又温泉などの宿泊施設も良くなります。全国大会、県大会の開催が可能な施設を1つないし2つ持っておいた方が良いでしょう。</p> <p>また、現役の選手、プロの選手等の招聘などについても必要なのではないかと思います。そういった誘客ができる施設について検討していただきたいという意見です。</p> |
| 生涯学習課長 | <p>昨年12月に推進委員会からいただいた意見書において、観光や経済活動なども視野に入れ、大きな大会が開催できるような施設の検討もすべきとの意見もありましたので、検討したいと思っております。</p> |
| 三浦委員 | <p>県立施設への誘致の取組について、7月くらいまでを目途に近隣市町への打診、県への説明資料作成、県への打診となっておりますが、このことについては以前から取り組んでおられるものと思います。</p> <p>この度、あらためて強力で浜田市へと誘致の要望をして、その可能性についてはどのくらいあるとお考えでしょうか。</p> |
| 副市長 | <p>以前から県立の施設設置をという思いはありました。近隣の江津市、邑南町は野球場を、益田市は県立施設の陸上競技場などそれぞれに施設を構えておられることから、浜田市にさらに1つ県立施設を要望するのは、実際には近隣市町の思いもあり、なかなか厳しいと思います。</p> <p>ただ、県の方にどのように考えていただけるかというのは、県知事選も控えており、新たな知事にしっかり要望することが必要と思っています。決して、楽な道のりではないと思います。しかし、要望は要望としてきちんとお伝えし</p> |

| | |
|-------------|--|
| | たいと思っております。 |
| 馬場真由美 委員 | <p>先ほどの意見に関連しますが、資料 3-2 の現在の検討事項の「7 県立大学の陸上競技場の 3 種公認について」は県と未協議で、「9 海浜公園の多目的グラウンドをテニス場へ変更する要望について」も県と未協議となっています。相手方がかなり消極的なのか、全く可能性がないから未協議なのかを教えてくださいたいです。</p> <p>これは要望ですが、島根県は施策的にも東高西低という感じで、西部にはなかなか光が当たっていないと思います。そういった面で先ほどのお話の「厳しい状況」は理解できますが、浜田市が近隣市町ともっと協力し、西部に光が当たるよう頑張ってくださいたいです。</p> |
| 生涯学習課長 | ご質問の回答ですが、未協議というのは、まだこちらから話をしに行っていないという状態です。 |
| 三浦委員 | <p>この計画とは少し離れるのですが、こういった現状があるということをお伝えしたいと思います。</p> <p>石見公民館では、ファミリーバドミントン大会を毎年実施しています。年々参加人数が増え、幅広い年代、また地域外からも参加者が多くなっています。ところが、それによりネット数が足りず、参加していただいても 1 試合しかできない等、試合数が少ないという問題が出ました。私は、公民館運営推進委員をしているので、大きい会場を借りたら良いと話をしたところ、公民館の館長さんは「お金がかかるので大きい会場を借りるのは難しい。」との回答でした。</p> <p>公民館では、スポーツ部会や福祉部会などを作って、ボランティアで懸命に活動をしているのですが、現実には活動を推進しようとする、予算的なこと等で、スポーツを行うことに制限がかかるという現実があることはご存知でしょうか。例えば、公民館活動のスポーツ大会やスポーツの推進活動に関して、予算的に何か考えていただくとかいうことはできないのでしょうか。</p> |
| 教育部長 | 石見公民館でそのような状況があるということは、存じ上げませんでした。いわゆる施設の利用率の問題だと思いますが、検討したいと思います。 |
| 三浦委員 | 毎年、2 月～3 月に行う大会で、幅広い年代で行っており、素晴らしい取り組みを行っていますので、是非一度ご覧になっていただきたいと思います。 |
| 坂東委員 | <p>面白い意見を聞いたので、紹介したいと思います。</p> <p>中国地方の大会を行う場合、浜田市のふれあいジムかなぎというのは、他の 4 県から来るのに大体 2 時間程度かかるのですが、中国地方の真ん中に位置しているようです。広島に集まると、駐車場代もかなりかかるため、穴場だということ。そういったことを聞いたので、中国地方の大会ができるように、ふれあいジムかなぎを改修し、大会誘致ができるようにしたら良いのではないかと思います。これは意見です。</p> |
| 三浦委員 | 質問ですが、先ほど定員適正化計画に基づいて職員の削減を実施しているという説明がありましたが、再任用の職員制度と退職勧奨の考え方について教えてくださいたいです。 |

| | |
|---------------|---|
| <p>総務部長</p> | <p>定員適正化計画については、先ほどの中期財政計画においてお示しましたが、今後の財政運営を含めて、他の類似団体との比較もあり、職員数を削減するというので、実際に業務に支障のない範囲でどのくらい削減できるか、また、今後の定年退職者予定数を勘案し、退職者の3分の2採用という計画になっています。</p> <p>一方では、年金の受給年齢が延びてきていますので、年金をもらえるまではそれぞれの事業所で退職者から希望があれば、引き続き雇用することが雇用主の義務になっておりますので、再任用制度を導入しています。再任用というのは短時間勤務ですが、正規職員扱いで配置をします。それを含めて人員確保をするということで、計画を進めていきます。今後の検討課題は、人は減る、仕事は残るということで、いかに事務の効率化をしていくかが一番のポイントだと思っております。</p> <p>10年間の3分の2採用については、退職勧奨を毎年行っていますので、実際かなりの職員の早期退職が出てきております。6月頃までに退職勧奨を行い、そこまでに応募があった者については、退職金上乘せをします。その早期退職者と定年退職者の人数を合わせて、3分の2採用とすることとしています。</p> <p>従いまして、定員適正化計画も10年間を見越しておりますが、予定よりも早期退職者が増加し、思った以上に人が減るということであれば、見直しも必要になると思います。また、会計年度任用職員制度や職員の定年延長なども国で検討されていますので、それを踏まえて数年後には定員適正化計画の見直しも想定しています。</p> |
| <p>三浦委員</p> | <p>浜田市にとって、人間性がある能力豊かな若い職員が入れることが必要ではないかと思いますが、3分の2採用でそれは大丈夫なのでしょうか。</p> |
| <p>総務部長</p> | <p>若手職員の採用については、実際に有効求人倍率が非常に上がっており、公務員の受験者が減っている現状ですが、地元で県立大学がありますので、ご協力いただきインターンシップ等で市役所の仕事を知ってもらいながら、受験をしていただくよう働きかけています。優遇措置などはないですが、多くの方に受験していただき、県立大学に入学された方々に多く浜田市に残っていただきたいという思いがあります。</p> <p>今後も定年退職者等が20人を超える予定ですので、多くの方に受験をしてもらいたいと思っています。</p> |
| <p>光延会長</p> | <p>ご意見もいろいろいただき、面白い話も出ていますが、時間の都合もありますので、この議題を終えたいと思います。</p> |
| <p>5 その他</p> | |
| <p>光延会長</p> | <p>続いて、「5 その他」について事務局から説明をお願いします。</p> |
| <p>行革推進係長</p> | <p>今後の会議の予定についてお知らせします。</p> <p>昨年は、7月に「行財政改革実施計画の進捗状況」について、11月には「公共施設再配置実施計画の進捗状況」について、会議を開催し、審議いただきました。新年度も、引き続き2つの計画の進捗状況について、7月と11月頃に</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>会議を開催する予定としています。合わせて、本日説明しました「スポーツ施設再配置・整備計画」につきましても、県要望の結果等を踏まえ、調整したものを、改めてご審議いただきたいと考えています。</p> <p>また、昨年は、「今後の行財政改革の取組」についての意見書をまとめていただき、市長に提出いただきました。新年度におけるこのような取組につきましては、皆様のご意見を伺いながら、会長・副会長と相談させていただくことになろうかと思えます。以上です。</p> |
| 光延会長 | <p>ただ今、事務局から説明がありました。特にご質問がある方は挙手をお願いします。</p> <p>また、昨年は意見交換会を開催しましたが、今後の新たな行政改革の取組などについて、ご意見等がありましたら挙手をお願いします。</p> <p>何かあれば後日でも結構ですので、事務局にご連絡いただきたいと思えます。他に無いようですので、最後に近重副市長から挨拶をいただきます。</p> |
| 副市長 | <p>委員の皆様には長時間にわたり、熱心にご協議いただきありがとうございます。本日は、中期財政計画とスポーツ施設再配置・整備計画（案）についてご説明させていただきました。</p> <p>中期財政計画について財務部長が説明しましたが、現在の状況は全国的に言えば「下の上」だそうですが、まあまあ財政状況だろうと思えます。実質公債費率が25.1%の時に比べれば、夢のような話だと思っております。</p> <p>改善した一番の原因は、以前、国が地方交付税を9億円余り切ってしまったことがあります。それが復活しましたし、合併算定替えて大幅に減額される予定のものがずいぶん緩和をされてきたということもあります。また、ふるさと寄附の関係もありますが、いわゆる行財政改革にしっかり取り組んでおり、定員適正化計画によって職員を削減したこと等が大きな効果となり現在の財政状況があると思っております。</p> <p>平成39年度で単年度収支がプラスマイナスゼロとなり、財政調整基金と減債基金あわせて65億円が残っています。これを食いつぶしていくと問題になりますが、これが維持できるということは、財政状況は非常に改善された状況で維持できるものと思っております。しかし、これも行財政改革をしっかり実施しないと維持できませんので、そこをご理解いただきたいと思えます。</p> <p>スポーツ施設再配置・整備計画（案）につきましても、公共施設も全部維持すると浜田市が破産してしまいますので、公共施設は3割カットが原則で取組を進めています。残したい施設があるというお気持ちはわかりますが、全部をという話にはなりませんので、そここのところは、どうぞご理解いただいた上でいろいろご意見をいただければと思っております。</p> <p>本日から2年間の任期ということで、これから様々のご審議をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| ◆ 閉会 | |
| 光延会長 | 以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。 |

| | |
|--|-----------------------------|
| | 長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。 |
|--|-----------------------------|

(11時40分閉会、所要時間 1時間40分)